

志布志麓



# 歴史



志布志麓の魅力を全6回（隔月）にわたりお伝えします。

志布志のシラス台地は約2万6千年前の火砕流堆積物で下部は軽石。雨水などが浸透し、幾層もの堆積物に濾過されて湧き出したのが志布志湧水群です。志布志城跡周辺の谷あいの馬場に点在しています。

## 第五回 麓湧水群めぐり



蔵王田の湧水



沢目記の湧水



御前の水（方丈川水源）



松尾城下湧水

志布志城跡はシラス台地上にある山城です。内城跡と松尾城跡の谷、沢目記馬場に沿った沢目記川。松尾城跡と高城跡、新城跡の谷、西谷馬場に沿って方丈川が流れ、その川沿いに湧き水があり、城跡を囲むように湧水が豊富だったことが現在でもわかります。麓集落形成に湧水群が深く関わっていたようです。「蔵王田の湧水」は沢目記川の中流にあり、沢目記馬場の国指定名勝・天水氏庭園の向いにあります。岩に小さく並んだ丸い穴が見られますが、大人も子ども

たちも鳥などを捕まえるために木の皮を何度も突いて「トリモチ※」を作った跡だそうです。そこから少し坂をのぼって行くと「田屋敷の湧水」があります。「沢目記の湧水」は沢目記集落の共有施設として利用されています。昭和五年秋に訪れた種田山頭火の句碑があります。「御前の水」は方丈川水源で西谷馬場にあり、鳥津の殿様に水を汲んで差し上げたと言われています。「松尾城下湧水」は街路に面しています。

沢目記川と方丈川の合流した犬之馬場入口あたりに「沢津川の井」お浪が池」もあるそうですが、川の改修  
※粘着力が強く、鳥がとまる木の枝などに塗ると、脚がついて飛べなくなる  
写真・文：東郷恵子（志布志麓住人 落語大好き）  
や暗渠化で分かりにくくなっています。古老によると、犬之馬場から小淵馬場の集落は地下水が豊富で、現在も井戸水を生活用水に使用しているとのこと。戦後しばらく、前川にかかる宝満橋から献上橋あたりの淵は、泳ぐ子ども達でいっぱいだったそうです。豊かな湧水群の清掃や管理は、集落の方が共同で行っています。出会ったら声をかけてみてください。いろいろお話が伺えます。



■問い合わせ先：教育委員会 生涯学習課 文化財管理室 指定文化財係 Tel：472-1111（内線 343）